

北アメリカ州の指導にあたって ～巨大な産業と経済を主題に

● 『学習指導要領解説』の抜粋

世界の諸地域について、次の①～⑥の州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究・解決するなどの活動を行う。州ごとに設ける主題は、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象とし、そこで特徴的に見られる地球的課題と関連付けて取り上げること。

- ①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ
④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア

IV. 北アメリカ州：＜主題例＞農業地域の分布、産業構造の変化に関わる課題など北アメリカ州を大観する学習を踏まえて、例えば、アメリカ合衆国（以下、アメリカという。）を対象に「アメリカでは農業地域の分布にどのような特色があるのか」、「なぜアメリカは、世界有数の経済大国となっているのか」などといった問いを立て、前者の場合、アメリカの自然環境、都市の分布、交通網の整備などを地域の人々の生活と関連付けて多面的・多角的に考察して、産業の立地に関わる一般的課題とアメリカにおける地域特有の課題とを捉える。

● 指導上の留意点

北アメリカ州の学習では、産業・経済などさまざまな点で現代の世界をリードしているアメリカ合衆国を中心にとらえながら、「なぜそうなったのか」をテーマとして授業を展開していく。また、アメリカ合衆国と直接国境を接するカナダ、メキシコとの関係、そして世界におけるアメリカ合衆国の影響力にも言及していく。

大きくは、歴史的な視点、産業（農業・工業）の視点、生活・文化（多民族の共存など）の視点から展開していくことになるが、よくも悪くもアメリカ合衆国がいかに世界に大きな影響をおよぼしているのかを生徒にしっかりと理解させたい。例えば、教科書p.101の資料4「アメリカのハンバーガー会社の店舗の広がり」などのような、生徒にわかりやすい主題図などを適宜用意したい。教える側も視点を明確に持った準備が必要となる。

本ワークでは、生徒の思考力を高めるために記述形式の設問を用意している。穴埋め型、暗記型のスタイルのみではなく、学習課題に対し、因果関係に生徒の興味が向くようにし、くれぐれも単なる「アメリカ礼賛」にならないように留意されたい。

● ワークシートの単元構成 <想定する時間数：全体で6時間>

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	北アメリカ州をながめて	北アメリカの位置と広がり	北アメリカ大陸、ロッキー山脈、ミシシッピ川 大陸内の気候の違い	p.26
2	北アメリカ州の農業生産	大規模な農業 世界への農産物輸出	穀物メジャー、機械化 適地適作、価格の変動	p.27
3	北アメリカ州の工業と技術	大量生産のしくみ 工業生産と先端技術	豊かな原料・資源 シリコンバレー、サンベルト、先端技術産業	p.28
4	北アメリカ州の歴史と人々	開拓の歴史 多様な住民	アメリカの領土拡大、ネイティブアメリカン 民族・文化の違いの尊重、ヒスパニック	p.29
5	北アメリカ州にみる多民族の共存と文化・経済	世界に広がるアメリカ文化 アメリカ合衆国の影響力	多民族からなる社会 アメリカ合衆国・カナダ・メキシコの結びつき	p.30
6	北アメリカ州のまとめ	大きくとらえた北アメリカ 巨大な産業と経済からみた北アメリカ	白地図上に主な地名や語句を整理する 追究したテーマについて文章でまとめる	p.31

北アメリカ州 ①

北アメリカ州をながめて

●学習のねらい●

日本の25倍をこえる国土面積をもつアメリカ合衆国や、カナダの地形や自然などの特徴を理解しよう。

北アメリカ州は、北極海から北緯10度付近のパナマまでにおよぶ地域で、カナダやアメリカ合衆国、メキシコ、キューバやカリブ海の島々からなります。北アメリカ大陸の地形は、東部から南部にかけての海岸沿いの平野、アパラチア山脈、内陸の低地と高地、ロッキー山脈、山間部、太平洋岸に大きく区分されます。

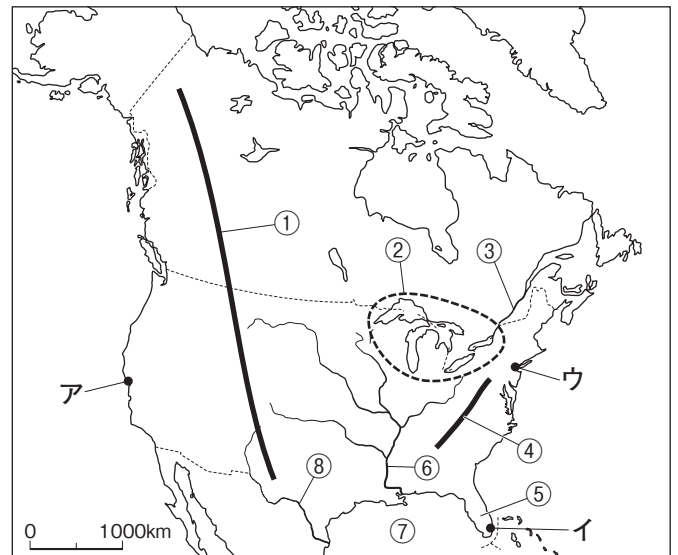
北アメリカ大陸の大きな川には、それぞれ特徴があります。セントローレンス川から五大湖にかけては、重要な交通路として水運が利用され、植民地としての開拓が始まったころから利用されてきました。また、多くの支流と合流するミシシッピ川は、アメリカ合衆国の南北方向

の交通の軸となっています。そして、リオグランデ川は、アメリカ合衆国とメキシコの国境を流れています。

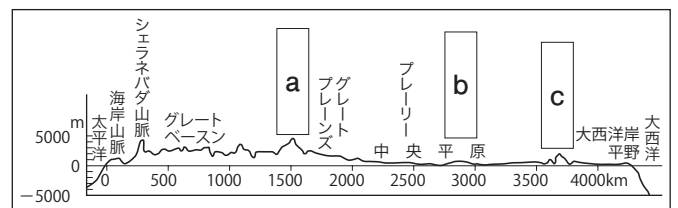
北アメリカ大陸の気候は、熱帯から寒帯まで、湿潤な地域から乾燥した地域まで変化に富んでいます。西経100度の経線がほぼ年降水量500mmの線と重なり、これを境に東半分は湿潤な地域で森林がみられ、西半分には乾燥したステップの地域がみられます。また、南西部には乾燥帯の地域もみられます。さらに、大陸西岸に位置するカリフォルニア州では、温暖で冬に降水量がみられる地中海性気候の地域が広がっています。

課題 1 次の①～⑧は、右の地図中の①～⑧の地形について説明した文です。①～⑧の()に入る地形名を答えよう。

- ① 高い山々が続く()山脈
- ② 五つの湖が連なる()湖
- ③ カナダとの国境を流れる()川
- ④ 森林が多くなだらかな()山脈
- ⑤ 一年中暖かい()半島
- ⑥ 北アメリカ大陸一長い()川
- ⑦ 湾岸に油田がある()湾
- ⑧ メキシコとの国境を流れる()川



課題 2 右は、北緯40度付近で北アメリカ大陸を東西に切ったときの断面図です。課題1を参考にしながら、a～cにあてはまる地形名を答えよう。



a	山脈	b	川
c	山脈		

課題 3 右上の断面図をみると、北アメリカ大陸の西側に高い山脈がみられます。その理由を「造山帯」という言葉を使って答えよう。

課題 4 右上の地図中に西経100度の経線を記入してみよう。また、次のア～ウは地図中のア～ウの都市名とその年降水量(mm)を表しています。このデータから、大陸の東部と西部の気候の違いについて考えてみよう。

ア	サンフランシスコ	517.1	-----
イ	マイアミ	1568.6	
ウ	ニューヨーク	1145.4	

北アメリカ州 ②

北アメリカ州の農業生産

●学習のねらい●

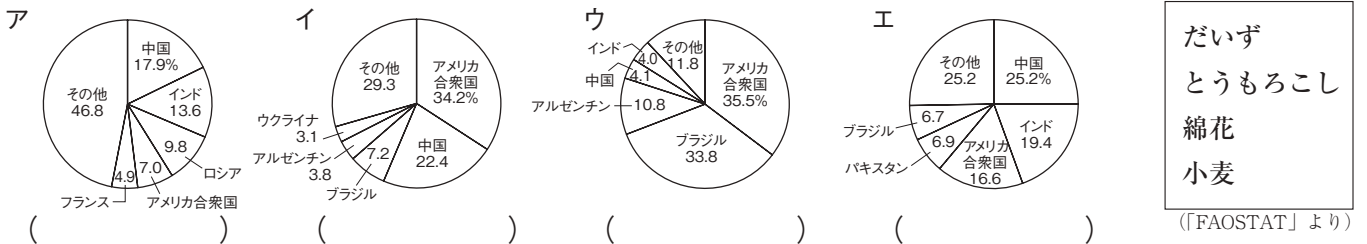
さまざまな農作物を大量に生産するアメリカ合衆国の農業の特徴を、地図を用いて理解しよう。

アメリカ合衆国は、だいでず・とうもろこしの生産では世界有数の国です。いずれも不可欠な食料で、こうした穀物の輸出は穀物メジャーとよばれる巨大な商社によって行われ、同時に全世界の穀物市場は彼らの影響下にあります。

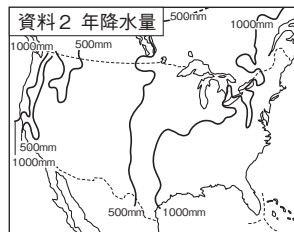
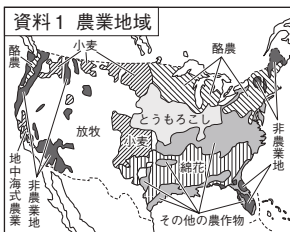
また、自然条件に合わせて農作物を栽培する方法は適地適作とよばれ、広大な土地をもつこの国の農業の特徴です。かつて多くの黒人労働力を使っていた南部の綿花地帯（コットンベルト）では、現在は綿つみが機械化されています。西経100度線付近に広がるプレーリーは小麦地帯となっており、第二次世界大戦後、余った小麦を消費するため、日本の給食用のパンの原料として輸出されたことが

知られています。プレーリーの東に広がるとうもろこし地帯（コーンベルト）では、一度放牧して育てた肉牛を、牧草より高カロリーの穀物などを飼料として肥育場（フィードロット）で育て、肉質を高めてから市場に出荷します。とうもろこしは、家畜飼料、食品のほか、バイオエタノール（燃料用）にも使われます。この地域では、とうもろこしとともにだいでずが生産されており、その価格の変動は世界の食卓に影響を与えています。大西洋沿岸の大都市の周辺では酪農や野菜の栽培が行われています。特に、カリフォルニア州では雨が少ないため、かんがい設備を備えた大農場で、果物や米が生産されています。

課題 1 次のア～エは、それぞれある農作物の生産国の割合を示しています（2018年）。それぞれの作物名を右の□から選んで（ ）に答えよう。



課題 2 次の資料1は合衆国の農業地域を示したものです。放牧が行われている地域の特徴を資料2・資料3から読み取って書いてみよう。



課題 3 右の地図のa～dは、それぞれ小麦、だいでず、綿花の生産量と牛の飼育頭数の多い10州のいずれかを示しています。だいでずにあてはまるものを選んでみよう。また、選んだ理由を書いてみよう。

記号	理由



(2019年 「FAOSTAT」より)

課題 4 バイオエタノールの生産が盛んになることによって、食料生産にどんな影響を与えるか、考えてみよう。

北アメリカ州 ③

北アメリカ州の工業と技術

●学習のねらい●

アメリカ合衆国における工業が盛んな地域の移り変わりについて、地図を用いて理解しよう。

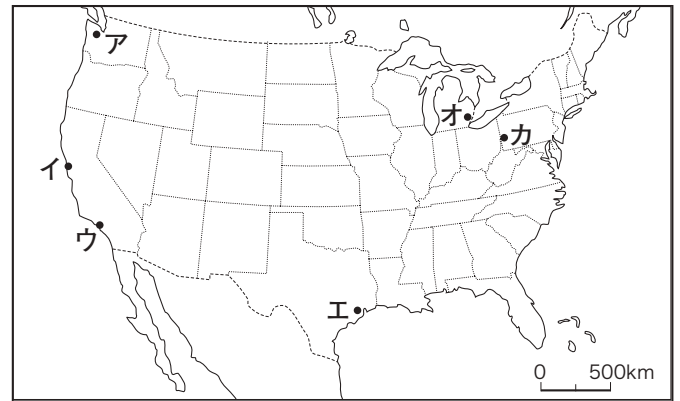
原料や資源に恵まれたアメリカ合衆国は、20世紀には世界最大の工業国となりました。機械化が進み、流れ作業による大量生産のしくみが発達し、デトロイトとその周辺は自動車工業が発展しました。自動車の原材料として用いられた鉄鋼は、ピッツバーグなどで生産されました。これらの都市が位置する合衆国東部の五大湖沿岸から大西洋岸北東部にかけての地域は、北アメリカで最も古い工業地域です。一方、西部は工業の遅れた地域でしたが、第二次世界大戦中にロサンゼルスやシアトルなどの太平洋岸で、戦争に必要な飛行機の生産が盛んになり、発展のきっかけとなりました。また、南部ではメキシコ湾岸で産出される石油を

利用した石油化学工業、さらにヒューストン周辺やフロリダ半島などでは宇宙産業が発達しています。

近年、この国の工業で最も世界に影響力をもつのは、1990年代以降、ICT化をおし進めたコンピューター産業に代表される先端技術産業です。これらの巨大企業、多国籍企業は世界的な規模で活動しています。集積回路などをつくる先端技術産業が盛んなサンフランシスコ南部の地域はシリコンバレーとよばれ、世界各地から優秀な人材が集まり、研究開発が進められています。また、北緯37度以南のサンベルトとよばれる地域も工業が発展し、この国の工業はグローバル化する世界経済をリードしています。

課題 1 次の①～③の文章にあてはまる都市はどこか答えよう。また、その位置を右の地図中のア～カから一つずつ選び、記号で書こう。

- ① 航空機工業が発達し、ハリウッドの映画産業も有名である。都市名 ()・記号 ()
- ② 近郊のシリコンバレーには先端技術産業が集積している。都市名 ()・記号 ()
- ③ 古くからある工業地域に位置し、自動車工業が発達している。都市名 ()・記号 ()



課題 2 次の表は、プロ・スポーツチームの本拠地を表しています。①～③の都市はそれぞれどこか、下の【ヒント】を参考にしながら答えよう。また、その位置を上の地図中のア～カから一つずつ選び、記号で書こう。

都市名	記号	プロ野球メジャーリーグ	プロバスケットボール	プロフットボール
①	・	パイレーツ	—	スティーラーズ
②	・	アストロズ	ロケッツ	テキサンズ
③	・	マリナーズ	スーパーソニックス (～2007年シーズン)	シーホークス

【ヒント】 スティーラーズは「鋼鉄の人たち」、アストロズは「宇宙飛行士」、スーパーソニックスは「超音速航空機」という意味。

課題 3 鉄鋼業や機械、自動車などの産業は、アメリカ合衆国の中ではどのような地域に分布しているか、地図帳から読み取ってみよう。またそれはなぜだろうか、考えてみよう。

課題 4 化学工業は、アメリカ合衆国の中ではどのような地域に分布しているか、地図帳から読み取ってみよう。またそれはなぜだろうか、考えてみよう。

北アメリカ州 ④

北アメリカ州の歴史と人々

●学習のねらい●

北アメリカ州には多様な人々が生活しているが、その歴史的な背景を理解しよう。

かつて、北アメリカ大陸では、先住民が豊かな自然とともに暮らしていました。しかし、1492年にコロンブスが「新大陸」を「発見」した後にやって来たヨーロッパの開拓民は、先住民から土地を奪い、それぞれの自然環境に応じた農地や牧草地へと変えていきました。また、アメリカ合衆国の南部では広大な綿花畑がつけられ、その労働力としてアフリカ大陸から多数の黒人奴隷を連れてきました。

北アメリカ大陸のメキシコ以南は、主にスペイン（ラテン系民族）の植民地となったことからラテンアメリカとよばれます。それに対して、アメリカ合衆国とカナダは主にイギリス（アングロ-サクソン民族）の植民地となったためアング

ロアメリカとよばれます。増加しているラテンアメリカからアングロアメリカへの移住者は、大部分がスペイン語を話すので、ヒスパニックとよばれています。

こうした、さまざまな地域の出身者からなるアメリカ合衆国は、民族や文化の違いを尊重しながら共存していこうとしています。アメリカ合衆国では、1865年に奴隷制が廃止され、1960年代に差別を禁止する法律が成立しました。2009年にはバラク=オバマが黒人として初めて大統領に就任しました。しかし、大都市のスラムには低所得の黒人やヒスパニックが多く住み、郊外の住宅地には高所得の白人が住むという光景は、今だに両者の間にある明確な格差を物語っています。

課題 1 右の年表の①～④の（ ）に言葉を入れて、アメリカ合衆国のあゆみをまとめてみよう。

年代	主なできごと
1492年	探検家 (①) の西インド諸島到達
17世紀初め～	(②) 系の移民, 植民地建設
1776年	独立宣言, 西に向かって (③) の進行
19世紀半ば	アジア系移民の増加
近年	スペイン語を話す (④) の急増

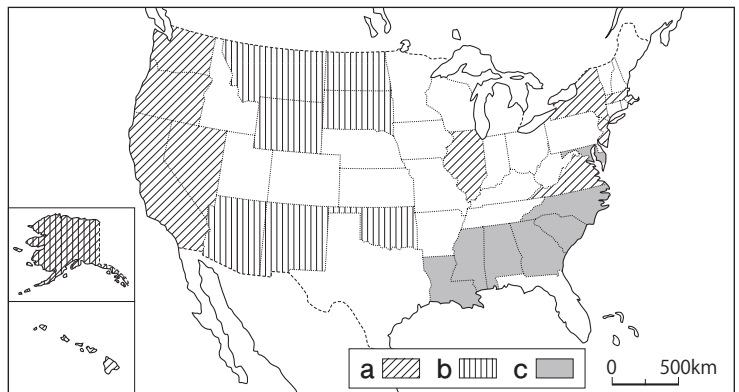
課題 2 現在のアメリカ合衆国の国旗（星条旗）のデザインを下に簡単に描いてみよう。また、デザインの意味を考えてみよう。



デザインの意味

課題 3 右の地図のa～cのうち、アフリカ系（黒人）住民の比率が20%以上の州を示しているのはどれでしょうか。一つ選んで、記号を答えよう。またそれを選んだ理由も書いてみよう。

記号
理由



課題 4 アメリカ合衆国の13の州が独立したとき、「アメリカ諸国連合」という意味で「ユナイテッド・ステイツ・オブ・アメリカ」(USA) という国名になりました。これは「合州国」という意味ですが、日本語で一般には「合衆国」と表現するのはなぜか、考えてみよう。

北アメリカ州 ⑤

北アメリカ州に
みる多民族の
共存と文化・経済

●学習のねらい●

アメリカ合衆国で育まれた、多様な文化や生活様式について考え、アメリカ合衆国が世界に及ぼす経済的な影響力について理解しよう。

アメリカ合衆国・カナダでは、これまで世界から多くの移民を受け入れ、多民族からなる社会が形成されてきました。言語に注目すると、アメリカ合衆国では英語、カナダでは英語・フランス語、その他の北アメリカ州各国ではスペイン語などが使用されているように、ヨーロッパからの移民が持ち込んだ文化が社会に根づいています。アメリカ合衆国では、それ以外のアフリカやアジアからの移民なども含め、多様な人々が暮らす生活の中から便利さや美しさ・楽しさを追求する中で特有の音楽や映画、スポーツなど文化が生まれました。生活様式や文化は、その巨大な経済力を通じ、世界に広まってきました。アメリカ合衆国の生活様式の基

本は、大量生産と大量消費で、これは豊富な資源と経済力に支えられてきました。しかし、今日では環境への負担を小さくしようとする考え方が広まっています。

アメリカ合衆国の影響力は、カナダやメキシコに対しても大きく、貿易を通じて現在強く結びついています。1994年以降、この三国は北米自由貿易協定 (NAFTA) を結び、一つの経済圏にまとまることで労働者の移動をやすくし、関税を引き下げて貿易をやすくすることで、EUや日本などに対抗することを目ざしてきました。近年、三か国の再交渉が行われた結果、2020年にはアメリカ合衆国・メキシコ・カナダ協定 (USMCA) が発効しました。

課題 1 次の表は、アメリカ合衆国への移民数の推移です。この表について問いに答えよう。

年代	総数(万人)	第1位(%)	第2位(%)	第3位(%)	第4位(%)	第5位(%)
1961-70	332	(A) (13.3)	カナダ (8.6)	キューバ (7.7)	イギリス (6.9)	イタリア (6.2)
1971-80	449	(A) (14.2)	フィリピン (8.0)	キューバ (6.2)	大韓民国 (6.1)	中国 (5.6)
1981-90	726	(A) (22.8)	フィリピン (6.8)	ベトナム (5.5)	中国 (5.4)	大韓民国 (4.7)
1991-2000	908	(A) (24.8)	フィリピン (5.6)	中国 (4.7)	ベトナム (4.6)	インド (4.2)
2001-2010	1050	(A) (16.1)	中国 (6.3)	インド (6.3)	フィリピン (5.6)	ドミニカ共和国 (3.1)
2010	104	(A) (13.3)	中国 (6.8)	インド (6.6)	フィリピン (5.6)	ドミニカ共和国 (5.2)

*中国：台湾も含む。(出典 Statistical Abstract of the United States 2012ほか)

① 表中の(A)に当てはまる国名を答えよう。また、この国や西インド諸島などの国々からアメリカ合衆国にやってきた、スペイン語を話す移民とその子孫を何というか、答えよう。

(A)の国名
移民名

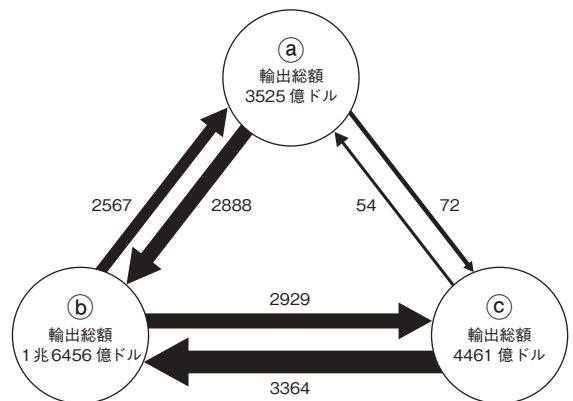
② 表の第2位以下の国々に注目すると、どこから来た移民が増えていると考えられますか。次から選んで答えよう。

アフリカ州 ヨーロッパ州 アジア州 オセアニア州

--

課題 2 右の図は、アメリカ合衆国・カナダ・メキシコの3か国間の貿易関係を示したものです。①~③のうちアメリカ合衆国はどれか答えよう。

()

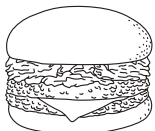


(数字の単位は億ドル。2019年、Global Trade Atlas ほかより作成)

課題 3 アメリカ合衆国のあるハンバーガーチェーンの世界展開に関して、次の資料から読み取れる工夫を書いてみよう。

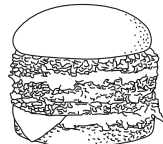
ご当地バーガー

韓国 (キムチバーガー)



プルコギバーガーもある

インド (マハラジャバーガー)



羊肉を使っている。ほかに菜食主義者用もある

北アメリカ州 ⑥

北アメリカ州の まとめ

●学習のねらい●

北アメリカ州の特徴を地図で確認しながら、キーワードをまとめ、北アメリカ州の全体像をつかもう。

アメリカ合衆国とカナダ、メキシコからなる北アメリカ州の東部にはなだらかなアパラチア山脈が、西部には険しいロッキー山脈が南北につらなっています。二つの山脈の間に広がる広大な平原にはミシシッピ川が流れ、メキシコ湾に注いでいます。

アメリカ合衆国の大きな特徴として、国民の大半は移民をルーツにもつことが挙げられます。黒人の多くはアフリカ大陸から奴隷として連れてこられた人々の子孫です。近年はアジアからの移民やヒスパニックが増加しています。また農業では、適地適作が特徴で、西経100度の

線とほぼ一致する年降水量500mmの線を境にして、西側の放牧地域と東側の農業地域に大きく分けられます。さらに工業では、恵まれた資源によってかつては大きく発展していた北部の工業地域は衰退しはじめており、かわりに北緯37度以南のサンベルトとよばれる地域が発展しています。特に、半導体関連の産業が集積している西部の太平洋岸に位置するシリコンバレーには、世界各地の技術者が集まっています。また、海外にいくつも活動拠点をもつ多国籍企業の本社はアメリカ合衆国に多くみられ、世界経済に大きな影響を与えています。

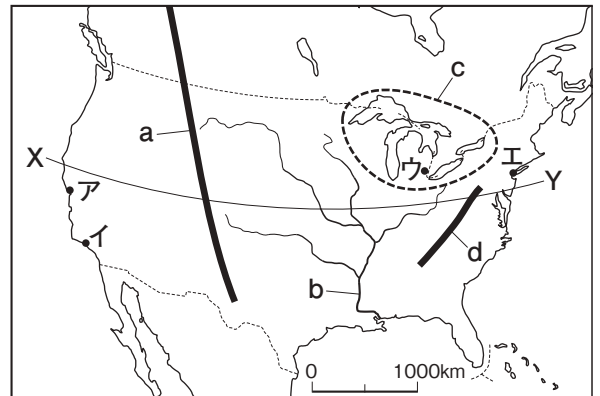
課題 1 右の地図を見ながら、以下の作業をしてみよう。

① 地図中の a～d について、地形名を記入しよう。

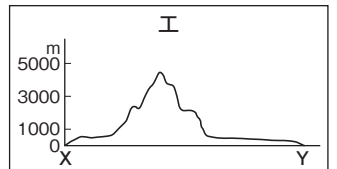
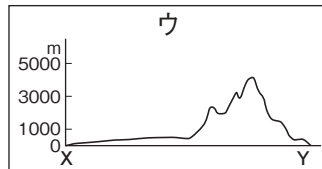
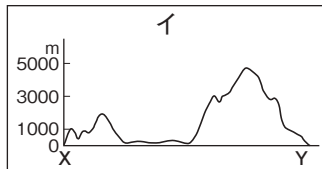
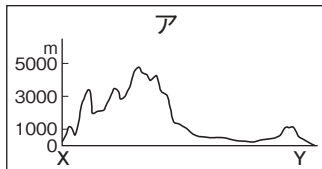
a	山脈	b	川
c	湖	d	山脈

② 地図中のア～エについて、都市名を記入しよう。

ア	イ
ウ	エ



③ 地図中の X - Y の断面図として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で書こう。



課題 2 今まで学習してきたキーワードについて、ワークシートで確認しながら答えてみよう。

- ① 地下深い岩の層から採取される天然ガスの一種。
- ② 近年急増しているメキシコなどから流入して来たスペイン語系の移民。
- ③ アメリカ合衆国の農業の特徴として知られる、気候などの条件に最も適した作物を大量につくるしくみ。
- ④ 1970年代以降に工業が発達した、アメリカ合衆国の北緯37度以南の地域。
- ⑤ サンフランシスコ近郊にある、コンピューター関連の工場や研究所が集積している地域。
- ⑥ アメリカ合衆国に本社がおかれることが多い、世界中で経済活動を行う企業。

①
②
③
④
⑤
⑥

課題 3 ワークシートをもとに北アメリカ州の様子について学んできました。あなたが最も関心をもった内容を新聞にまとめるとき、どんな見出しをつけますか。また、記事の要約も合わせて書いてみよう。

見出し：
要約：